

令和8年4月10日

公益社団法人

国土緑化推進機構

## 第35回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第35回「みどりの文化賞」受賞者を以下のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、令和8年5月9日（土）、イイノホールで開催する第35回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

ア みどりの感謝祭名誉総裁（皇族殿下）の表彰状

イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞  
が授与されます。

おがわ みつお  
受 賞 者 小 川 三 夫 氏  
( 鶴 工 舎 宮 大 工 棟 梁 )

問合わせ先： 公益社団法人国土緑化推進機構

担当： 吉 永 電話 3 2 6 2 - 8 4 5 7

## 第 35 回みどりの文化賞

～「木の心を知る」技と精神を受け継ぎ 次の世代につなぐ～



(受賞者)

お がわ みつ お  
**小 川 三 夫** (78歳)

いかるがこうしゃ  
( 鵜 工 舎 宮大工棟梁)

- 1 小川三夫氏は、昭和 22 年、栃木県矢板市生まれ。当代を代表する寺社建築の棟梁。栃木県立氏家（うじいえ）高等学校（平成 17 年、さくら清修高等学校に統合・改称）在学中、修学旅行で訪れた法隆寺五重塔に深く感銘を受け、宮大工を志す。
- 2 高校卒業後、伝説の宮大工 西岡常一（にしおか つねかず：第 2 回みどりの文化賞受賞者）棟梁に弟子入りを志願するも最初は断られ、仏壇店や各地の神社で修業を積んだ。  
昭和 44 年、21 歳で西岡棟梁の唯一の内弟子として認められ、副棟梁として法輪寺三重塔、薬師寺金堂・西塔の再建などにおいて活躍した。
- 3 昭和 52 年、寺社建築専門の建築会社「鵜工舎（いかるがこうしゃ）」を設立。全国各地の寺社仏閣建築の設計・施工、文化財建造物の修理などにあたる。これまで棟梁として建ててきた建造物は全て木造でその数は 100 を超える。
- 4 また、これまで 100 人を超える宮大工の弟子を養成。自宅で寝食を共にしながら、技を継承してきた。  
「弟子は育てるのではなく、育つ環境をつくるのが肝要」と語る小川氏は、作る現場を弟子養成の場として大事にしてきた。西岡棟梁から受け継いだ「木の心を知る」技や精神を次世代に渡し続けている。



西岡棟梁より設計指導を受ける受賞者（左）



弟子と休憩の様子（中央が受賞者）



埼玉県長久寺上棟式典（先頭が受賞者）

（受賞歴）

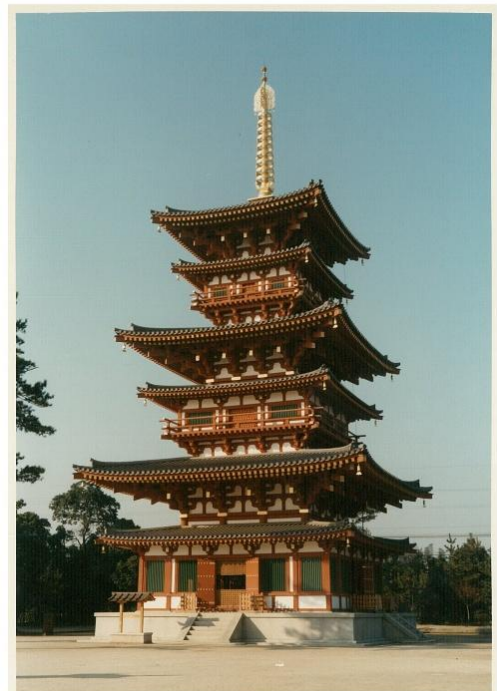
- 平成10年 第26回下野県民賞
- 平成15年 現代の名工
- 平成20年 黄綬褒章

（主な著書）

- 「棟梁～技を伝え、人を育てる～」（平成20年 文藝春秋）
- 「不揃いの木を組む」（平成13年 草思社）
- 「木のいのち木のころ（地）」（平成5年 草思社）



薬師寺西塔再建のため西岡棟梁と東塔を計測する受賞者（下）



落慶した当時の薬師寺西塔

(参考)

## みどりの文化賞の概要

### 1 概要

平成2年、国民の祝日「みどりの日」が制定されたことを記念し、緑豊かな国土と新しい森林文化の創造に役立てるため、緑や森林に関して顕著な功績のあった者（個人または団体）を顕彰する「みどりの文化賞」を創設しました。

その後、東日本大震災の影響により平成23年と、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年に中止したほかは、毎年「みどりの感謝祭式典」において表彰してきています。

### 2 選考方法

幅広い分野の学識経験者等で構成する「みどりの文化賞選考委員会」において、選考基準を定めています。

選考基準に基づき、広く学識経験者等から顕著な功績のあった者の推薦を受け、選考委員会において「みどりの文化賞」にふさわしい者を審査・選考し、受賞者を決定しています。

### 3 表彰

「みどりの月間」中に開催される「みどりの感謝祭」の式典において表彰します。

みどりの文化賞受賞者には、

- ① みどりの感謝祭名誉総裁名（皇族殿下）の表彰状
- ② 国土緑化推進機構会長（衆議院議長）の賞牌及び副賞

が授与されます。

### 4 今後のスケジュール

4月上旬                      プレスリリース

5月9日（土） 表彰式（みどりの感謝祭式典・イイノホール）（予定）

## みどりの文化賞選考委員

(五十音順：敬称略)

青 山 佳 世	フリーアナウンサー
今 井 通 子	国際自然・森林医学会会長 東京農業大学 客員教授
上 村 さや香	2023ミス日本みどりの大使 日本大学芸術学部助教
倉 本 聰	脚本家 NPO法人富良野自然塾塾長
島 田 泰 助	一般社団法人日本林業協会 会長
末 綱 隆	元東宮侍従長
丹 下 健	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長
永 田 信	一般財団法人 林業経済研究所 理事長
滑志田 隆	毎日新聞社 終身名誉職員

## 「みどりの文化賞」のこれまでの受賞者

- 第1回 戦後の森林造成と国土緑化  
(受賞者) 徳川宗敬 氏 (故人への顕彰)
- 第2回 木の文化の継承、発展に貢献した者  
(受賞者) 西岡 常一 氏
- 第3回 森林と水との関わりを社会にひろめる  
(受賞者) 財団法人 水利科学研究所
- 第4回 森林と水の守り手、山村を支える  
(受賞者) 黒澤 丈夫 氏 (個人 群馬県上野村長)
- 第5回 森林と水の守り手、山村を支える  
(受賞者) 宮崎県諸塚村
- 第6回 ボランティア活動による森林づくり  
(受賞者) 草刈り十字軍
- 第7回 持続的森林経営をめざす森林づくり  
(受賞者) 高橋 延清 氏
- 第8回 大都会のなかでの自然豊かな森林づくり  
(受賞者) 明治神宮の森
- 第9回 海を蘇らせた森林づくり  
(受賞者) えりも岬の緑を守る会
- 第10回 「森林文化」の新たな展開  
(受賞者) 筒井 迪夫 氏
- 第11回 民間公益団体による緑化活動支援  
(受賞者) ゴルファーの緑化促進協力会 (GGG)

- 第12回 上下流の協力による森林づくり  
(受賞者) (財) 矢作川水源基金
- 第13回 国際緑化活動の推進  
(受賞者) 神足 勝浩 氏
- 第14回 地方自治による山村活性化への取り組み  
(受賞者) 松形 祐堯 氏
- 第15回 国民参加の森林づくり運動の推進  
(受賞者) 高木 文雄 氏
- 第16回 民間団体等による「国民参加の森林づくり」運動支援  
(受賞者) 株式会社 ローソン (ローソン緑の募金)
- 第17回 森林を活かし、木の文化の伝承に貢献した者  
(受賞者) 小原 二郎 氏
- 第18回 森林文化を未来に引き継ぐ森林管理  
(受賞者) 神宮司庁営林部 (伊勢神宮宮域林)
- 第19回 民間団体による国際緑化活動の推進  
(受賞者) (財) オイスカ
- 第20回 森林と人との豊かな関わりを目指して  
(受賞者) 北村 昌美 氏
- 第21回 伝統の技が生み出す木の文化  
(受賞者) 田中 文男 氏
- 第22回 「水と緑と土」は、豊かな自然の原点  
(受賞者) 富山 和子 氏
- さくらは日本のシンボル～大震災からの復興の励みに～  
(受賞者) 佐野 藤右衛門 氏

第23回 日本の山から明るく豊かな展望の到来を願って

(受賞者) 島崎 洋路 氏

第24回 「森林(もり)森林の力を地域の力に」の実現を目指して

(受賞者) 中越 武義 氏(個人 元高知県梶原村長)

第25回 「森は海の恋人」運動の実践を通じ豊かな日本の未来を目指して

(受賞者) 畠山 重篤 氏

第26回 「森の再生」と「心の再生」－豊かな森が持つ可能性を信じて－

(受賞者) C. W. ニコル 氏

地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生

(受賞者) 岩手県 葛巻町

第27回 再生産可能な未来のエネルギーの礎を築く

－木質バイオマス利用と農山村の振興への願いを込めて

(受賞者) 熊崎 実 氏

第28回 森が育む幼児の力

(受賞者) 佐藤 清太郎 氏

NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

第29回 森林科学の未来を拓く

(受賞者) 木平 勇吉 氏

第30回 私は森林の案内人

(受賞者) 田中 惣次 氏

第31回 市民・女性の視点で森林づくりを広める

(受賞者) 池谷 キワ子 氏

第32回 市民参加による森林づくりを支える

(受賞者) NPO法人森づくりフォーラム

第33回 失われゆく木の文化・技術を「聞き書き」に残す  
(受賞者) 塩野 米松 氏

第34回 森林・林業のあるべき姿を市民目線で伝え続ける  
(受賞者) 太田 猛彦 氏